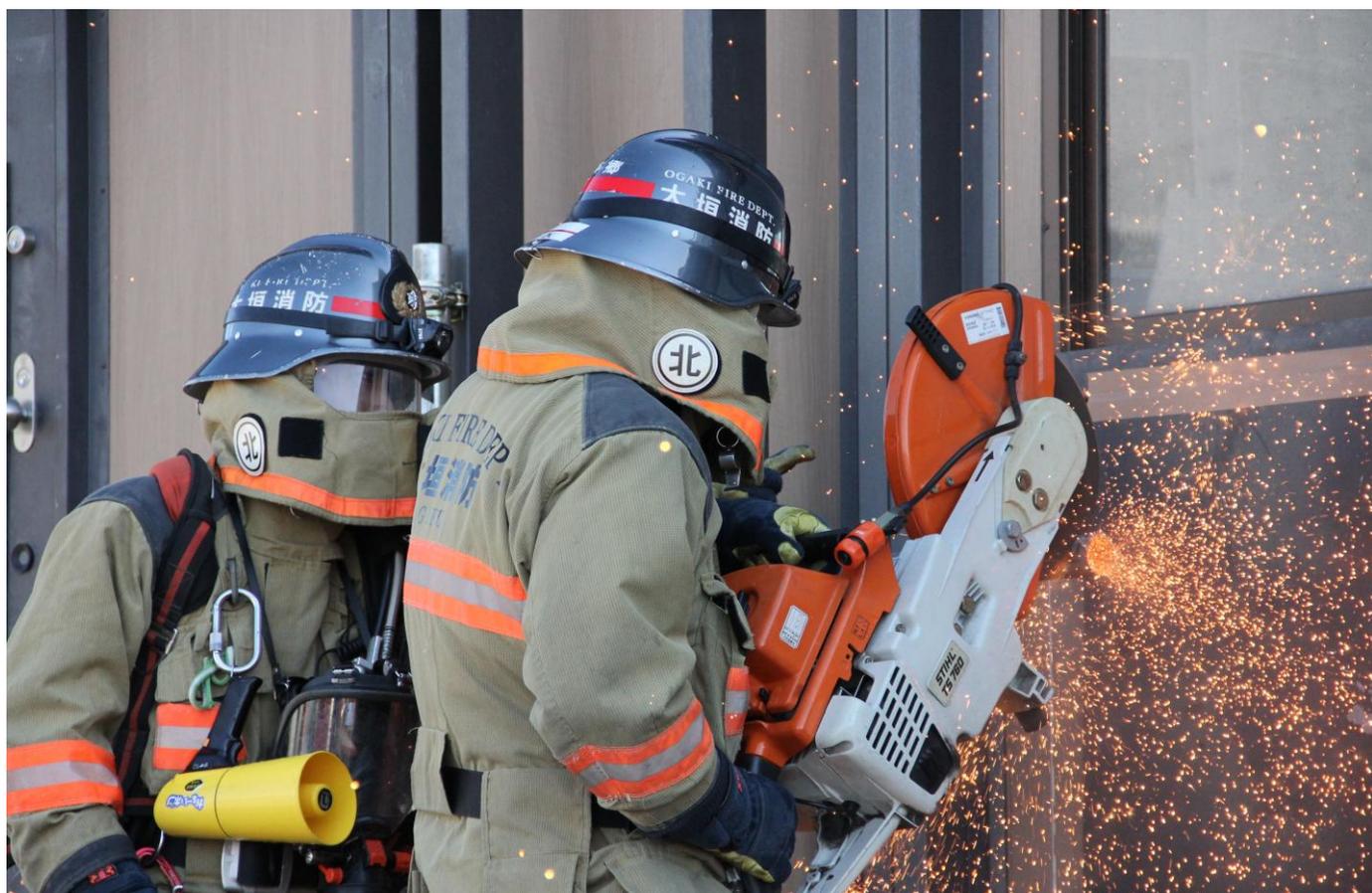


大垣消防組合 消防統計2025

令和7年版



大垣消防組合
Ogaki Fire Department

令和7年消防統計 目次

1 今年の災害	1・2
令和7年消防統計概要	
2 火災統計	3・4
出火原因別火災件数	3
月別火災件数・焼損床面積	4
建物火災用途別件数	4
出火原因の推移	4
3 救急統計	5・6
救急事故種別	5
傷病程度別搬送人員	6
年齢別搬送人員	6
10年間の救急出動件数	6
4 救助統計	7
5 その他の緊急出動	7

1 今年の災害

令和7年消防統計概要

令和7年における大垣消防組合管内1市4町《大垣市(上石津地域を除く。)・神戸町・輪之内町・安八町・池田町 人口約22万人》の火災・救急・救助などの状況をまとめました。

◆ 火災統計から・・・

火災件数は13件の増加、建物火災は全火災の約45.6%

火災件数は83件で、前年と比べ13件増加しました。

組合構成市町別では、大垣市が45件(1件増加)、神戸町が12件(1件増加)、輪之内町が8件(2件増加)、安八町が10件(7件増加)、池田町が8件(2件増加)となっています。

火災種別では、建物火災が38件(3件増加)、林野火災が0件(増減なし)、車両火災が13件(1件増加)、船舶火災が0件(増減なし)その他の火災が32件(9件増加)でした。

建物火災のうち住宅(共同・併用住宅等含む。)からの出火件数は22件(増減なし)で、全建物火災件数の約57.9%となっています。続いて工場からの出火が多く9件(5件増加)発生しています。

なお、焼損棟数は50棟(7棟増加)で、そのうち全焼棟数は6棟(3棟減少)となっています。

出火原因の1位は「たき火」、2位は「放火(疑い含む。）」、3位は「排気管」と「火入れ(枯草焼き)」

出火原因別では「たき火」が9件、「放火(疑い含む。）」が8件、「排気管」と「火入れ(枯草焼き)」がそれぞれ7件となっています。

「たき火」による出火においては、家庭ごみ等を焼却し、火が完全に消える前にその場を離れてしまったことで燃え広がり、火災となっています。「火入れ(枯草焼き)」は、田畑や堤防で枯草の焼却中に、風にあおられて延焼拡大し、火災が発生しています。乾燥しているときや風が強いときは、特に注意が必要です。原則、野焼きは禁止です。

「放火(疑い含む。）」による出火においては、人通りが少ない場所や夜中の時間帯で発生している事案が多いです。家の周りに燃えやすいものを置かないようにしてください。

「排気管」による出火においては、車両の整備不良等により火災となっています。定期的にエンジンオイルを交換するなど、日頃のメンテナンスを心掛けてください。

建物火災における出火原因の1位は「電灯・電話等の配線」、次いで「こんろ」

近年、電気が起因する火災が多く発生しています。コンセント周りの清掃や点検を定期的に行ってください。また、電気機器に異常が感じられた場合は、速やかに使用をやめ、専門業者にみてもらってください。

火災による死者は0人、負傷者は17人

火災による死者は0人(2人減少)で、負傷者は17人(2人増加)発生しました。負傷者については、昨年同様、増加傾向にあります。増加する理由として、初期消火を行ったことで逃げ遅れてしまい、逃げる最中に煙を吸う、または、火災にあおられてしまった事案が多いです。初期消火はとても大切なことですが、まずは自分自身の命を第一に考えて行動してください。また、住宅での火災は、住宅用火災警報器を設置することで早期に火災を発見することができるため、火災から命や財産を守るのに効果的です。住宅用火災警報器が未設置の住宅は、必ず設置してください。また、すでに設置されている方も定期的に点検を行い、設置後10年程度経過したものは新しいものに取り換えましょう。

◆ 救急統計から・・・

救急出動件数は11,108件、1日あたり約30件出動

救急出動件数は11,108件で、前年と比べ327件減少し、5年振りに救急出動件数の減少となりました。なお、過去10年間の平均(10,365件)より約743件多いこととなります。また1日平均出動件数は約30件です。

救急事故種別をみると、「急病」が7,589件(約68.3%)で全出動件数の7割近くを占め、次いで「一般負傷」が1,685件(約15.2%)、「交通事故」が801件(約7.2%)となっています。

搬送人員は10,454人で、そのうち心肺停止状態の傷病者を296人搬送し、静脈路確保を141件、薬剤投与を99件、高度気道確保を135件、除細動を19件実施し、39人が病院到着前に心拍再開しました。また、病院到着前に入院加療を必要としない「軽症」傷病者は4,440人(約43.8%)となり、救急隊の緊急度判断により、救急搬送の必要がなかったと思われる事案は1,446人でした。今後も救急車の適正利用について考え、行動することを呼びかける広報を継続していきます。

◆ 救助統計から・・・

救助出動件数は前年から4件減少の76件、交通事故が全体の約42.1%

救助出動件数は76件で、前年から4件減少となりました。

内訳をみると、「交通事故」による出動が32件で全体の約42.1%を占め、次いで「その他の事故」、「建物等による事故」の順になっています。

車両の安全に関する性能は上がっていますが、車の運転は運転手の認知、判断、操作に委ねられています。「だろー」運転ではなく、「かもしれない」運転を心がけ、安全運転をお願いします。

◆ その他の緊急出動から・・・

火災・救急・救助出動以外の出動件数は、1,438件で前年と比べ96件減少しました。そのうち「PA連携出動」が1,225件で全体の約85.2%を占め、前年と比べ99件減少しています。PA連携出動以外においては、多い順に、「焼却行為」、「通報確認」、「危険性物質の流出、漏えい等」となりました。

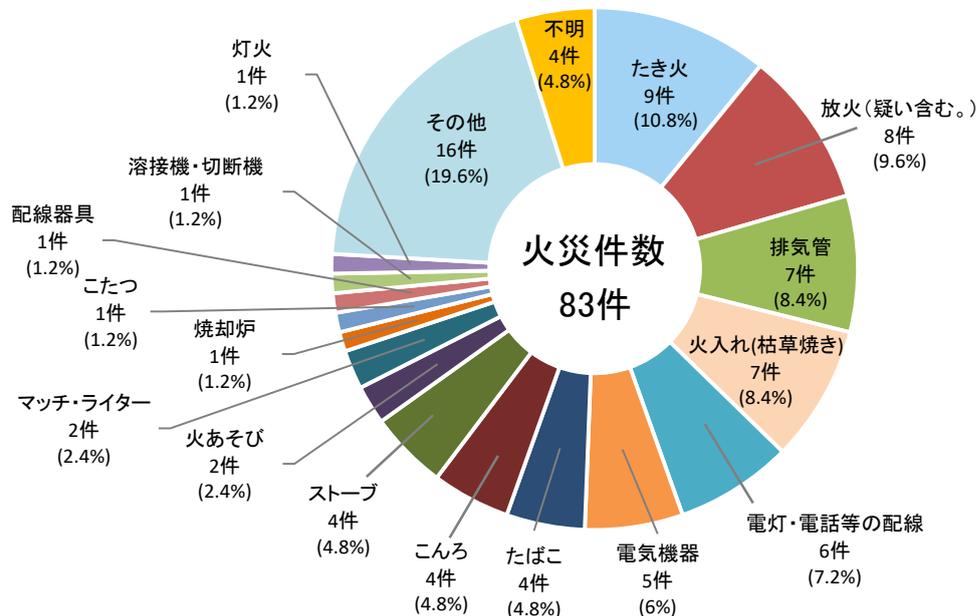
2 火災統計

区 分	令和 7年 (A)	令和 6年 (B)	増減数 (A)-(B)	令 和 7 年 市 町 別					
				大 垣 市	神 戸 町	輪 之 内 町	安 八 町	池 田 町	
火災件数 (件)	83	70	13	45	12	8	10	8	
火災種別	建物火災	38	35	3	25	4	2	4	3
	林野火災	-	-	-	-	-	-	-	-
	車両火災	13	12	1	6	5	-	1	1
	船舶火災	-	-	-	-	-	-	-	-
	航空機火災	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他の火災	32	23	9	14	3	6	5	4
焼損面積	床面積 (㎡)	1,408	1,691	△ 283	1,081	212	-	80	35
	表面積 (㎡)	33	141	△ 108	9	16	1	5	2
	林野 (a)	-	-	-	-	-	-	-	-
焼損棟数 (棟)	50	43	7	35	6	2	4	3	
焼損状況	全焼	6	9	△ 3	4	2	-	-	-
	半焼	4	6	△ 2	2	-	-	1	1
	部分焼	12	13	△ 1	6	3	-	2	1
	ぼや	28	15	13	23	1	2	1	1
り災世帯 (世帯)	23	24	△ 1	15	4	2	-	2	
り災人員 (人)	49	54	△ 5	32	10	3	-	4	
損害額 (千円)	140,723	181,978	△ 41,255	115,786	13,342	9	9,388	2,198	
死者 (人)	-	2	△ 2	-	-	-	-	-	
負傷者 (人)	17	15	2	7	3	3	1	3	
うち30日死者	1	-	1	1	-	-	-	-	

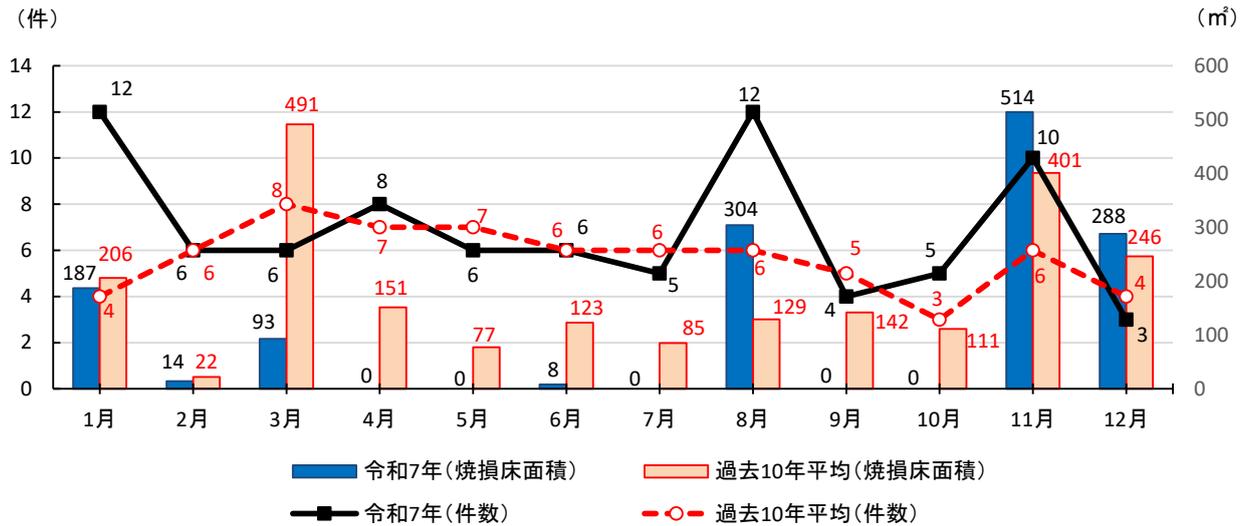
30日死者とは、火災により受傷後48時間を経過し、30日以内に死亡した者をいう。(△は負数を表す)

- 1日平均火災件数…約0.23件(約4日に1件)
- 1日平均火災損害額…約39万円
- 火災1件あたりの平均損害額…約170万円
- 建物火災1件あたりの焼損床面積…約37.1㎡

◆ 出火原因別火災件数



◆ 月別火災件数と焼損床面積



◆ 建物火災用途別件数

用途	住宅部分を含む用途			住宅部分を含まない用途			合計
	専用住宅	共同住宅	併用住宅等	特定用途	工場等	その他	
件数(件)	16	3	3	4	9	3	38

特定用途とは、飲食店などの不特定多数の人が出入りする建物をいう。

※火災件数83件のうち、建物火災は38件

◆ 出火原因の推移

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
1位	放火(疑い含む。)	放火(疑い含む。) 10件	放火(疑い含む。)	火入れ(枯草焼き) 9件	火入れ(枯草焼き) 9件	放火(疑い含む。) 8件	たばこ 10件	たばこ 11件	たばこ 13件	放火(疑い含む。) 9件	たき火 9件
2位	こんろ 各7件	電灯・電話等の配線 火入れ(枯草焼き)	火入れ(枯草焼き) 各8件	放火(疑い含む。) 7件	たばこ こんろ 各5件	火入れ(枯草焼き) 4件	放火(疑い含む。) 5件	電気機器 放火(疑い含む。)	火入れ(枯草焼き) 9件	電灯・電話等の配線 たばこ	放火(疑い含む。) 8件
3位	火入れ(枯草焼き) 配線器具 各5件	たばこ 各6件	たばこ 7件	たばこ 6件	たばこ 排気管溶接機・切断機 各3件	火入れ(枯草焼き) 5件	火入れ(枯草焼き) 5件	電気機器 7件	火入れ(枯草焼き) 各7件	排気管 火入れ(枯草焼き) 各7件	
管内火災件数	83件	68件	78件	72件	56件	49件	66件	63件	71件	70件	83件

3 救 急 統 計

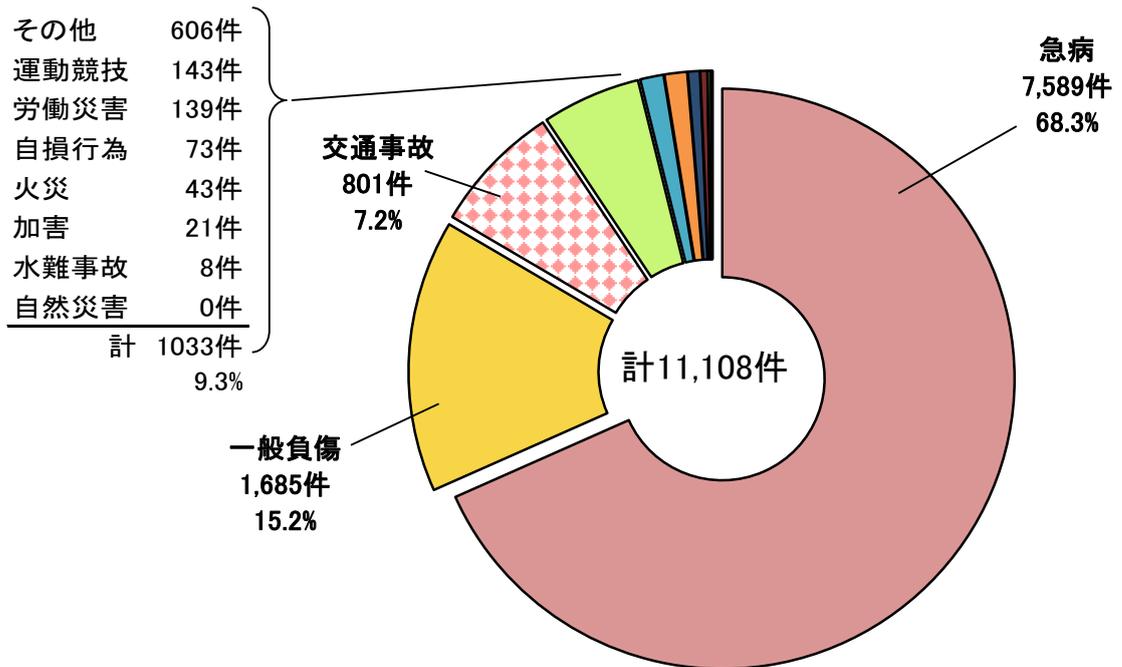
種別	区分 件数 人員	令和7年 (A)	令和6年 (B)	増減数 (A)-(B) (C)	令和7年市町別					高 速 道 路	管 外
					大 垣 市	神 戸 町	輪 之 内 町	安 八 町	池 田 町		
火 災	出動件数	43	47	△ 4	27	4	3	3	5	-	1
	搬送人員	13	15	△ 2	6	3	2	3	2	-	-
自然災害	出動件数	-	1	△ 1	-	-	-	-	-	-	-
	搬送人員	-	1	△ 1	-	-	-	-	-	-	-
水難事故	出動件数	8	3	5	4	1		2		-	1
	搬送人員	3	-	-	2	1				-	-
交通事故	出動件数	801	866	△ 65	555	63	44	60	71	1	7
	搬送人員	818	914	△ 96	562	67	41	61	77	2	8
労働災害	出動件数	139	133	6	78	16	6	25	13	1	-
	搬送人員	136	133	3	76	15	6	25	13	1	-
運動競技	出動件数	143	142	1	117	16	2	4	4	-	-
	搬送人員	142	144	△ 2	117	15	2	4	4	-	-
一般負傷	出動件数	1,685	1,667	18	1,245	137	55	71	173	2	2
	搬送人員	1,614	1,596	18	1,196	128	55	67	164	2	2
加 害	出動件数	21	25	△ 4	17	-	1	2	1	-	-
	搬送人員	16	21	△ 5	12	-	1	2	1	-	-
自損行為	出動件数	73	106	△ 33	55	4	2	6	6	-	-
	搬送人員	59	85	△ 26	46	4	2	2	5	-	-
急 病	出動件数	7,589	7,819	△ 230	5,558	602	324	438	657	6	4
	搬送人員	7,165	7,352	△ 187	5,228	577	312	415	625	6	2
そ の 他	出動件数	606	626	△ 20	459	24	22	30	68	1	2
	搬送人員	488	520	△ 32	365	14	19	26	62	-	2
合 計	出動件数	11,108	11,435	△ 327	8,115	867	459	641	998	11	17
	搬送人員	10,454	10,781	△ 327	7,610	824	440	602	953	11	14
不 搬 送		752	784	△ 32	565	55	25	46	56	1	4

(△は負数を表す)

1日平均出動件数 約 30 件

1日最多出動件数 51 件 (8月3日)

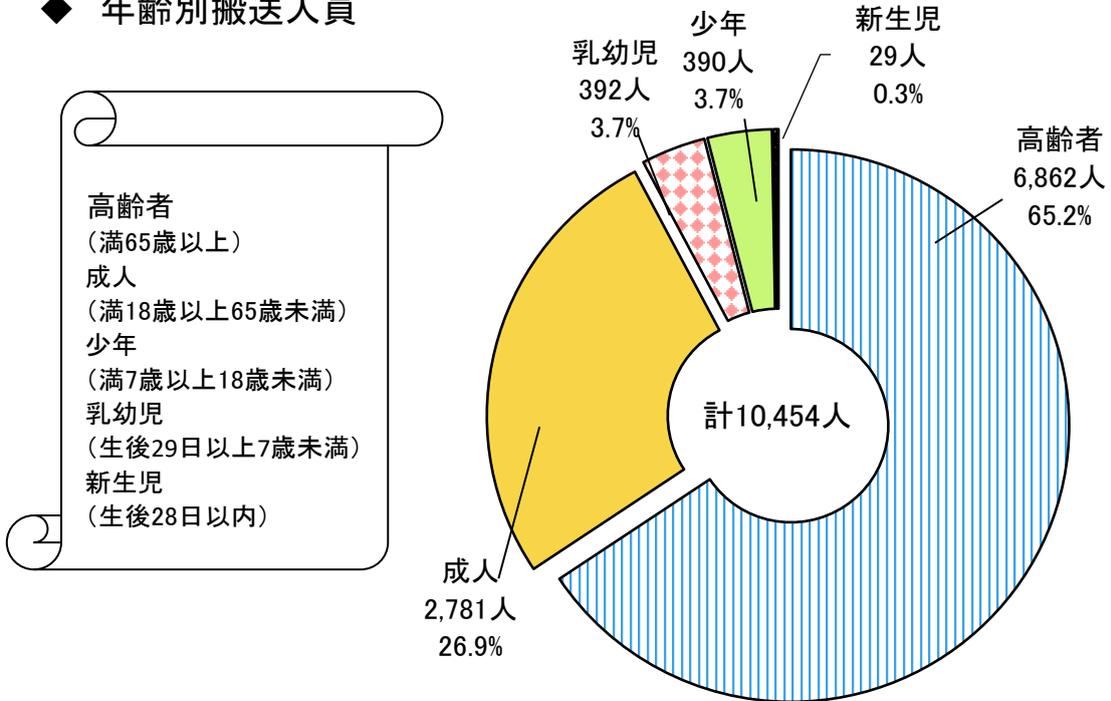
◆ 救急事故種別



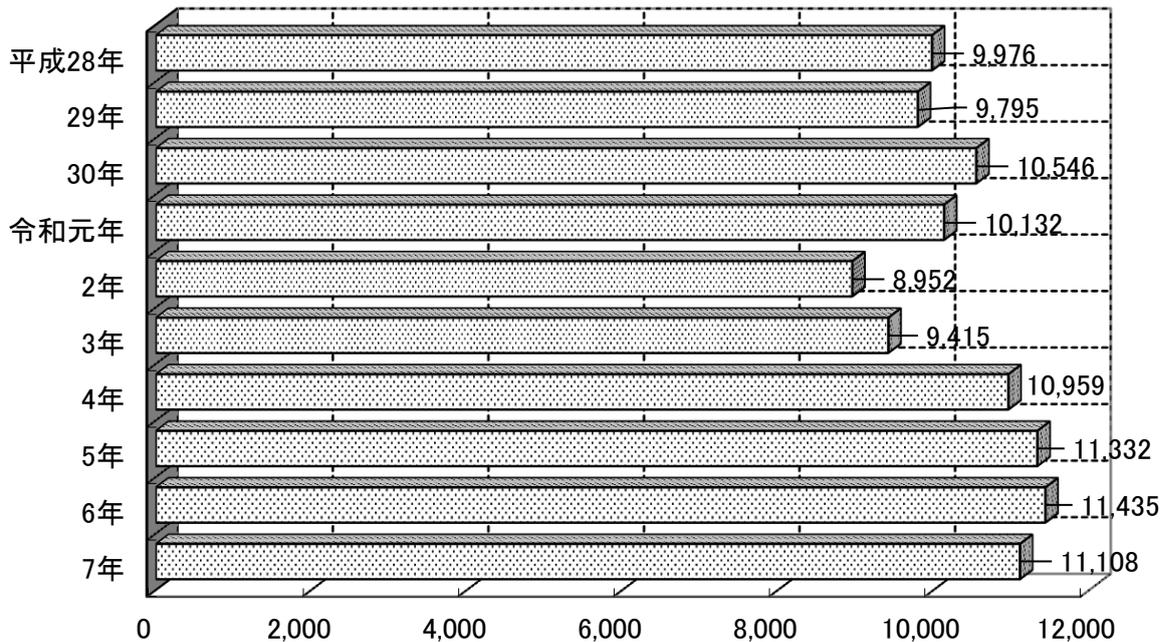
◆ 傷病程度別搬送人員

軽症	中等症	重症	死亡	その他	合計
4,440人	4,967人	1,045人	2人	0人	10,454人
43.79%	45.57%	10.58%	0.06%	0.00%	100%

◆ 年齢別搬送人員



◆ 10年間の救急出動件数



◇ 10年間の平均救急出動件数 10,365件

(件)

4 救助統計

種別	区分 件数 人員	令和 7年 (A)	令和 6年 (B)	増減数 (A)-(B) (C)	令和7年市町別					高 速 道 路	管 外
					大	神	輪	安	池		
					垣 市	戸 町	之内 町	八 町	田 町		
火	建物	1	2	△1	-	-	-	-	1	-	-
	救助人員	1	2	△1	-	-	-	-	1	-	-
災	建物以外	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	救助人員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
交通事故	出動件数	32	39	△7	19	4	3	2	3	-	1
	救助人員	29	26	3	17	3	2	2	3	-	2
水難事故	出動件数	8	3	5	5	1	-	1	1	-	-
	救助人員	7	1	6	4	1	-	1	1	-	-
自然災害事故	出動件数	-	3	△3	-	-	-	-	-	-	-
	救助人員	-	3	△3	-	-	-	-	-	-	-
機械による事故	出動件数	3	2	1	-	2	-	-	1	-	-
	救助人員	3	1	2	-	2	-	-	1	-	-
建物等による事故	出動件数	14	10	4	13	-	-	-	1	-	-
	救助人員	15	10	5	14	-	-	-	1	-	-
ガス及び酸欠事故	出動件数	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-
	救助人員	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-
破裂事故	出動件数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	救助人員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の事故	出動件数	17	20	△3	11	3	-	1	2	-	-
	救助人員	17	17	-	11	3	-	1	2	-	-
合計	出動件数	76	80	△4	49	10	3	4	9	-	1
	救助人員	73	61	12	47	9	2	4	9	-	2

1日平均出動件数……約0.21件(約5日に1件)

(△は負数を表す)

5 その他の緊急出動

区分	令和 7年 (A)	令和 6年 (B)	増減数 (A)-(B)	令和7年市町別					高 速 道 路	管 外	
				大	神	輪	安	池			
				垣 市	戸 町	之内 町	八 町	田 町			
警戒・調査活動	危険性物質の流出、漏えい等	45	26	19	18	6	3	7	10	1	-
	焼却行為	76	56	20	48	4	3	11	10	-	-
	通報確認	57	85	△28	45	1	3	8	-	-	-
	焼損事故	10	5	5	6	-	-	1	3	-	-
	怪煙	6	13	△7	3	1	1	-	1	-	-
	虚報	5	6	△1	2	2	-	-	-	1	-
	自然災害	-	3	△3	-	-	-	-	-	-	-
その他	3	4	△1	3	-	-	-	-	-	-	
支援活動	PA連携	1,225	1,324	△99	853	99	69	80	112	10	2
	集団災害	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-
	へり支援	4	5	△1	2	-	-	1	1	-	-
応援活動	6	7	△1	-	-	-	-	-	-	-	6
その他の活動	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	1,438	1,534	△96	981	113	79	108	137	12	8	

1日平均出動件数……約3.94件

(△は負数を表す)

警戒・調査活動 危険性物質の流出、漏えい等…危険性物質(ガソリン等)の流出、漏えい等により出動し、警戒又は調査したもの
 焼却行為…枯草焼き等の焼却行為に対する通報により出動し調査の結果、火災に該当しないもの
 通報確認…自動火災報知設備等の発報により出動し、調査の結果誤りであると判明したもの
 焼損事故…鍋の空焚き等で火災として取扱うに至らないもの
 怪煙…煙の発生により出動し、警戒又は調査したもの
 虚報…救急及び救助以外で出動した結果、その事実の発生がなかったもの
 自然災害…風水害等により出動し、警戒又は調査したもの
 その他…上記以外に警戒又は調査したもの

支援活動 PA連携(消防車と救急車が連携して救急活動を行うこと)、集団災害時の支援活動、防災へり等の支援活動したもの

応援活動 管轄以外の近隣市町の災害に出動したもの

その他の活動 上記以外の活動を行ったもの

住宅防火 いのちを守る 10のポイント

4つの習慣

- 1 寝たばこは絶対にしてはいけない
- 2 ストープの周りに燃えやすいものを置かない
- 3 こんろを使うときは火のそばを離れない
- 4 コンセントはほこりを清掃し、 unnecessary プラグは抜く

6つの対策

- 1 出火防止
過熱防止センサー
火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する
- 2 早期発見
定期的な点検
ボタンを押す ひもを引く
火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する
- 3 延焼拡大防止
防火カーテン
防火アームカバー
エプロン
火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防火品を使用する
- 4 初期消火
火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく
- 5 早期避難
お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく
- 6 地域の助け合い
防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う

出典：総務省消防庁ホームページ
<http://www.fdma.go.jp/>

2025年度 全国統一防火標語

急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし

消防情報テレホンサービス 050-5865-1561